

椋山女学園大学改革アクションプラン 2025

本学の個性や特色を活かし、学生等の多様なニーズに質の高い教育で応えていくため、本学では学長のリーダーシップの下、毎年「椋山女学園大学改革アクションプラン」を策定し、教育改革に取り組んでいます。

2025 年度は、保健師養成を目的とした公衆衛生看護学専攻科の設置、「登録実践研修機関・登録日本語教員養成機関」として登録日本語教員の養成プログラムの開設及び総合大学の特色を生かした「学部横断型社会実践特別プログラム」の開設など、魅力ある教育プログラムの実践を推進いたします。学びの継続及びさらなる教育改革を推進すべく、「椋山女学園大学改革アクションプラン2025」を策定いたしましたので、ここに概要を報告いたします。

I. 教育内容の充実

学生が主体的に学ぶ姿勢を醸成し、成長を実感できる教育を行い、主体的・対話的で深い学びを実現します。

・柔軟な学部教育

総合大学としてのメリットを活かした学部横断型の履修プログラムを通して、現代社会が抱える課題に対して、多職種連携により解決の即戦力となる人材を養成します。

・教育の内部質保証

昨年度導入した学修成果可視化システム（Sugi-PORT）を活用し、学修・生活指導教員から学生への個別指導の実施、学生自身の成長実感等の分析を行い、教育の内部質保証を推進します。

II. 学修支援

学生の多様なニーズに応じた学修支援を行い、教育効果を高めるとともに、学生が学修を深めることができる環境を整えます。

・学修ポートフォリオの再整備

学修成果可視化システム（Sugi-PORT）による、学修・キャリア支援体制を検証し、支援内容や支援方法の充実を図ります。

III. 学生生活

学生間、学生と教職員など、学内コミュニケーションの一層の充実を図り、必要なサポートがすぐに得られる安心・安全で健康的なキャンパスライフを実現します。

・可能性を広げる機会の提供

全学的な留学プログラムや海外研修の支援体制を充実、強化します。

2024 年度に引き続き、学生の主体的・自主的な活動を通じて、学生自身の成長とともに、地域・社会の発展に貢献することを目的とした「椋山学生チャレンジプロジェクト」を実施します。

IV. キャリア支援

学生が就職、進学など進路についての希望を実現できるように、支援体制の充実を図り、就職の「質」を向上させ、卒業後も生涯にわたり支援します。

・キャリア育成センターの充実

「人間論」や教養教育科目「領域7 トータルライフデザイン」の担当教員との連携を強化し、入学から就職・進学までの系統立ったキャリア支援を行うための見直しや改善を進めます。

V. 学生確保

教養から実学まで、在学生から卒業生・社会人まで、幅広い学びの要求に応えることによって、中長期にわたり安定した定員管理と質の高い学生の確保を実現します。

・多様な人々に開かれた入試制度

アドミッション・ポリシーに基づいた学生確保のため、募集定員や入試方法、入試科目等を検証し、多様な入試制度を整備し、導入していきます。

外国人留学生の受験者増加に向けたプロジェクトチームの活動により、留学生獲得を強化します。

VI. 社会連携

他大学、行政組織、企業など、地域社会の様々な主体との連携を進めることによって、本学の活性化と発展を目指すとともに、地域社会に貢献します。

・子育て支援・幼児教育の充実

2024 年度から開設している名古屋市地域子育て支援拠点事業「すぎばーく」について、教育学部、眉山こども園と連携しながらさらなる講座やイベントの充実を図り、地域に向けた子育て支援を行います。

VII. マネジメント

教学組織の持続的な改革を通して、資源の最適配分を計画・実行するマネジメント力を一層強化します。

・教学マネジメントの機能強化

2025 年度から副学長を常置することに伴い、さらなる改革推進を可能とする全学的なマネジメント体制を構築します。

以上